

病院職員対象研修会について

1 趣旨

病院完結型医療から地域完結型医療への転換が求められている中、病院においては、入退院支援や地域との医療連携等の強化が行われている一方、誤嚥性肺炎や心不全等の繰り返す入退院や入院の長期化等、苦慮する現実や、地域包括ケア病棟の増加など、病院と在宅医療との更なる連携が必要とされています。

そこで、入院医療と在宅医療の切れ目ない継続的な医療連携を実現するための取組の一つとして、病院職員（医師・看護師等）の更なる在宅医療への現状理解と連携促進を目的とした研修会を実施するものです。

また、在宅医療推進においても、地域の医療機能の適切な分化・連携は重要な要素であることから、病院間の連携促進を目的とした情報交換の機会も設定します。

2 対象

市内病院の医師・看護師・連携室職員 等
定員 約 100 名（各病院から 6、7 名程度を想定）

3 日時及び場所

日 時 平成 31 年 3 月 16 日（土） 午後 1 時から午後 4 時 30 分まで
場 所 （地独）市立吹田市民病院 1 階 講堂

4 内容

- (1) 「在宅医療について ～在宅医療と病院との円滑な医療連携の必要性～」
医療法人学縁会 おおさか往診クリニック 理事長 田村 学氏
- (2) 「多職種による在宅療養生活の支援について ～事例をとおして～」
吹田市福祉部高齢福祉室職員
- (3) 「在宅医療推進の観点からみた病病連携について」
吹田市健康医療部地域医療推進室職員
- (4) 意見交換会（顔の見える関係づくりの機会）
病病連携促進のための病院間での情報交換 等